かりかり モモコちゃん　あじさいひめ　森のモリくん　さんれい さんちゃん　土佐打刃物タンちゃん　物部 アユちゃん　龍河洞 リューくん　湯のシブキちゃん　©やなせたかし

市民のひろば

まちの声

第1回かみかみクイズの応募でいただいた誌面に対する感想の一部を紹介します。ご応募・ご感想をいただきありがとうございました。

かみかみクイズとてもいいアイデアと思います。今まできちんと見た事がなかったですが、香美市の様子がよく分かりました。

◇　◇　◇

クイズ大好きです。これから毎月の広報が楽しみです。少しずつ人口が減少してさみしいですネ。近所にも赤ちゃんがいないです。

◇　◇　◇

こういった市報と連動したクイズがあると、楽しみながら隅々まで読めていいですね！市民のひろばに活発な寄稿欄なんかあるともっと親しみをもって読めるのになぁ…と思います。

◇　◇　◇

広報は毎月必ず読み生活に月1回、地元の情報を知ることのできる情報誌として楽しく読んでいます。もう少し、若者が身近に感じる情報があれば嬉しいです。

◇　◇　◇

香美史探訪記。まだまだ知らない場所があって良い勉強になり楽しみに読んでいます。

編「探訪記に掲載された史跡を回っている」と読者からの電話がありました。予想以上の反応に驚き！

◇　◇　◇

いつも広報を見ては「へ～こんな事があったんだ！ここ行ってみよ！」と思うばかりです。ヒマつぶしに読んでいても、案外勉強になることがあります。

◇　◇　◇

誌面が読みやすくなったように思います。非常に理解しやすい内容だと思いました。

◇　◇　◇

活用していますので、懸賞品付きクイズがつくとより楽しく読めます。ページ数が増えたせいか、縦書きと横書きが混在しているのが読みにくい時があります。

編誌面に変化をつける工夫として別枠で横書きを入れさせていただいていますが他の方法も検討します。

◇　◇　◇

いつも読んでいます。大切な情報源です。知った人の名前や写真が出ていると嬉しくなってじっくり見ます。これからも分かりやすい誌面作りがんばってください。夫は無類のウニ好きです。当選するよう神氏ちゃんに祈ろうと思います。

◇　◇　◇

近ごろ楽しい記事が多くなりました。探訪記を含む市民のひろばなど、裏表紙もいいです。

神氏ちゃん　その34　～ゆずドリンクがおいしいですね～

作:國則　京花
（山田高校マンガ部）

さくらてんし　ぎんなん ぎんちゃん　しいたけ たけちゃん　ゆずぼうや　フラフラ フラくん

香美史探訪記

第１４回 ミツマタと恒石武徳（物部町舞川）

高知県は、製紙原料のコウゾ・ミツマタの生産地として知られ、本市北部地区は、県下三大産地に数えられていた。特に物部ミツマタには、恒石武徳氏の功績が大きく、舞川の三差路には、紀念碑※１が建てられており、その遺徳を伝えている。

武徳氏は、舞川に生まれて就農し、五穀・桑・茶などを栽培していた。明治１７年（１８８４）３２歳の時、当時の戸長菅原薫治の勧めで、静岡県からミツマタ種を購入して栽培を始めた。しかし、当時の製紙原料はコウゾであり、コウゾ生産者から嘲笑を受けたと言われる。播種から３年で収穫したが、県下の製紙業者は、ミツマタを原料としておらず、買い手がつかなかった。氏は、これに屈せずに、山間部を巡回して栽培を奨励し、明治３２年（１８９９）、１０貫※２を８円ほどでの売買を成立させた。氏は、県外に販路を広げ、大阪の業者と年間４万貫の取引契約を成立させた。このことは、県下の業者に競争意識を生み、相場は急騰し、物部町内の生産者は大いに潤った。ミツマタ原料の和紙は重要輸出品となり、明治４３年、ロンドンの日英博覧会で金牌を受けた。

物部町舞川のミツマタ

恒石武徳翁紀念碑

また、氏は明治２７年（１８９４）、農林産物搬出のため道路建設を主唱し、郡道槇山村―岸本村約１０里の開通を見たのであった。明治３５年頃までは、ミツマタが赤岡方面に盛んに搬出されていたが、大正１０年以降は、丸一製紙大栃出張所を通じて、コウゾ・ミツマタ各２０万貫が取引され、愛媛・岐阜・静岡などにも販路を開いた。

戦後、製紙業界は好況で、昭和２７年頃には、白皮１０貫で１万５千円の空前の高値を呼び、再び山間にミツマタブームが出現した。昭和３０年夏、１００円硬貨が流通を始めると、相場は４千円に暴落し、生産者にショックを与え、現在は、市内のミツマタ栽培は衰退していった。

※１　紀念碑の『紀』は石碑にあるとおりの文字です。
※２　重さの単位で、１貫は3.７５ｋｇ。

（香美史談会）

ただいま留学中㊳

マリア・ソレール ヘレディア（スペイン バレンシア市）

こんにちは、みなさん。私はマリアです。スペインから来ました。今ＫＵＴで知能機械工学を勉強しています。

日本は大好き！！みんなやさしいです。研究室もおもしろいです。日本語は難しいですが、みなさんに助けていただきながら、よく習っています。

スペインと日本はとても違います。人々も料理も生活も違います。

たとえば、スペインではみんな毎週末木曜日から日曜日まで毎日遊びに行きます。パーティーとか、映画とか、ディスコとか、なにかして、遅くなります。

日本人とスペイン人の共通点は、周りの人に対して、親切にふるまおうという気持ちが強いことだと思います。日本人の友だちは、私が、新しい場所で、ちゃんと暮していけるか心配してくれますし、スペイン人の私は出会った人とは、だれとでも友達になろうと努めます。

私はスペインのバレンシアから来ました。バレンシアも海がありますから魚をよく食べます。ですけど、すしとさしみは日本のレストランでしか食べません。私は日本料理が大好きですが、スペイン料理もほんとにおいしいです。バレンシアの一番有名な食べ物はパエリヤです。その料理はご飯です。いろいろなご飯があります。野菜も果物も安いですから毎日食べます。毎年夏休みは１カ月ぐらいです。そして昼寝！あまりできませんけど、スペイン人はみんな大好き。昼寝のことをシエスタと言います。スペイン人はゆっくり生きます。

香美市のみなさん、できたら、スペインへ行ってほしいです！これからもよろしくお願いします。